

福田果樹園のサクランボ



生産者の福田栄司さん

福田さんの果樹園は、ホテルの名所としても知られる、周南市鹿野の大潮地区にあります。高原の気候を生かしたサクランボ栽培は、5月下旬から6月に収穫時期を迎えます。



大事なサクランボは、ひとつひとつハケでなめます。

福田果樹園では、約10種類の品種を栽培しているので、いろいろなサクランボが楽しめます。

まず、5月終わりには、早生品種「正光錦」が収穫できます。そして6月に入ると、甘みと酸味の調和の良い「佐藤錦」も食べごろとなります。サクランボの産地として有名な山形県より収穫時期が早いため、毎年楽しみにしている方も、多いのです。

サクランボは、苗木を植えて7・8年目で、ようやく収穫できるようになります。苗木を植えて以来、この土地に合った栽培方法を、日々、研究中とおっしゃる福田さん。収穫されたサクランボは、福田さんの努力の結晶と言えるでしょう。

ここのサクランボは、本当のおいしさを引き出すため、しっかり木で熟させてから、早朝に収穫されます。そして、ひとつずつハケでなで、丁寧に箱詰めされていくのです。

こうして出荷される、つややかな、宝石のようなサクランボ。みなさんも、ぜひ、味わってみてください!!



“こあ”でもきれいなサクランボが、並びます。